

# 梅川トンネル現場見学会

余市町立沢町小学校5年生が参加



6月16日(木)、一般国道229号余市町で、梅川トンネル(仮称)の現場見学会が実施されました。これは、現在進めている梅川トンネルの掘削中の工事現場を地元の小学生に見てもらい、道路を身近に感じ、大切さを理解してもらおうという目的で行ったものです。

参加したのは地元余市町の沢町小学校の5年生28名と引率の先生2名。

普段なかなか見ることができないトンネル工事の見学。小学生達は真剣に職員の説明に耳を傾けていました。



職員がパネルを使ってトンネルができるまでを説明



真剣に説明を聞く沢町小学校の生徒達



いざトンネルに潜入！



ドリルジャンボの迫力にびっくり！



汚れた水が凝集材できれいな水と土に分離



土は固めて再利用だよ



発泡ウレタンの混合で、ムクムクとふくれあがる様子を見ている

トンネル内でのドリルジャンボの実演では、その迫力と穴を開ける音の大きさに、「すげーっ！」と子供たちは歓声を上げていました。

見学の後の質問タイムでは、「何でトンネルを作るの？」「トンネルを掘ったときの土はどうするの？」「どうして真っ直ぐ掘れるの？」といった質問が子供たちから次々と飛び出しました。

見学会の最後に「トンネルが出来上がるのを楽しみにしています。これからも頑張ってください」と代表の子があいさつ、元気に全員で「ありがとうございました！」と言って、現場を後にしました。